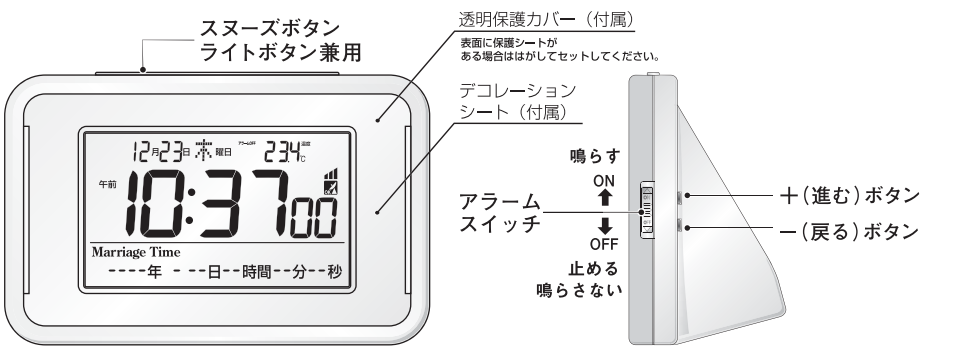


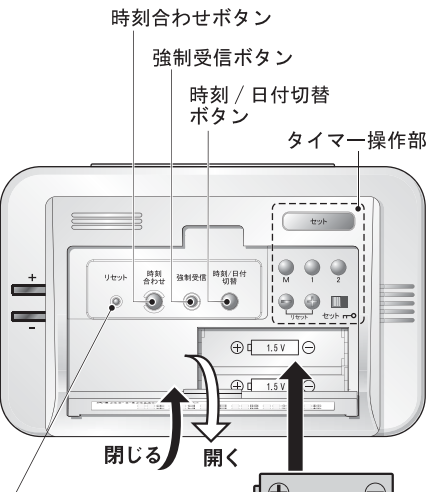
1.電池を入れて時刻を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



液晶の特性として、見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。この時計は正面およびやや上から見たときに見やすくなります。

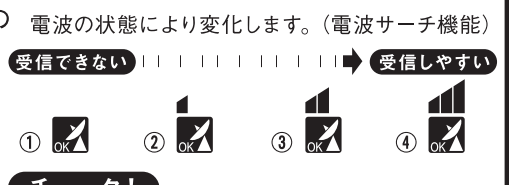
標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときに「電波を受信できない場合」の「手動での時刻の合わせ方」をお読みください。



- 電波を受信しやすい窓際などに置いてください。
- 電池ホルダーの十一表示に合わせて単3形マンガン乾電池を2個入れる。電池ぶたを開けて電池を入れて電池ぶたを閉じてください。
※電池を逆向きに入ると液もれ、発熱、破裂の危険があります。
 - リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します
 - 電池を入れた後は、必ずリセットボタンを押してください。
 - 受信中はボタンに触れないでください。
 - 受信結果を確認する⇒【受信の流れと表示】参照
最長で約21分間受信を行います。終わるまで待ちます。受信マークで受信結果を確認してください。
点滅：受信中
点灯：受信成功
消灯：受信失敗→「電波を受信できない場合」へ

電波受信中のボタン操作について
電波の受信中に十または一ボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

電波を受信しにくい環境
つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。
●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
●金属製の雨戸やブラインドの近く。
●ビルの地下など。
●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く。
●朝夕の時間帯、雨天のとき。
●家電製品やOA機器の近く。
●スチール机などの金属製家具の上や近く。



チェック!
1~2分経過後も①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉

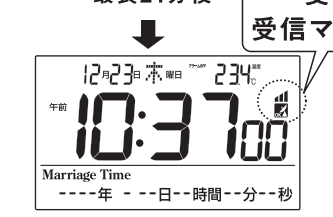


〈受信開始〉



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2010年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

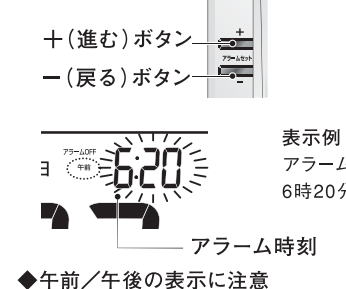
〈受信終了〉



受信マークは受信成功後、24~25時間点灯 (受信に成功したときの表示例) (受信に失敗したときの表示例)
受信マークが点灯し受信成功を示しても、電氣的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

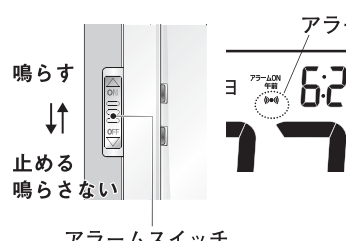
2.アラーム機能の使い方

アラーム時刻の合わせ方



- 十または一ボタンを押してすぐに離す。「アラーム」の文字が点灯し、アラーム時刻が点滅します。
- アラーム時刻を合わせる。十または一ボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけると早く変わります。
- アラーム時刻合わせを終わる。およそ5秒間ボタン操作をしないと、点滅が止まりアラーム時刻または温度表示に切り替わります。

アラームのON/OFF設定



アラームスイッチON:設定時刻にアラームが鳴る。
▶アラームマーク(●)が点灯して、アラーム時刻を表示します。
温度を確認するときには、アラームスイッチをOFFにしてください。
アラームスイッチOFF:アラームを止める、鳴らさない。
▶アラームマークが消灯して、温度を表示します。

アラームオートストップ機能..... (自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分間で終了します。

スヌーズ機能..... (止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、時計上部にあるスヌーズボタンを押すと、アラームマーク(●)が点滅し、約5分間アラームが停止し、また鳴り出します。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク(●)は点灯表示になります。

アラームご使用上の注意

アラームマーク(●)が点灯しているときは、アラームスイッチがOFFにされるまで毎日アラームが鳴ります。

電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)になるべく時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記の操作でご使用になれます。

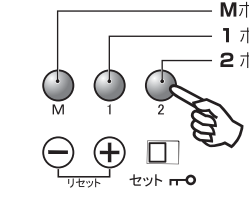
■手動での時刻の合わせ方

- 時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
- 西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
▶十または一ボタンを押して数値を合わせます。押しすぎると1つ単位に変わり、押し続けると連続して変わります。
▶時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。
- 電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。
⇒「D 電波受信機能のON/OFF操作」参照
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、手動時刻合わせを終了します。
- 電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。
- 電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

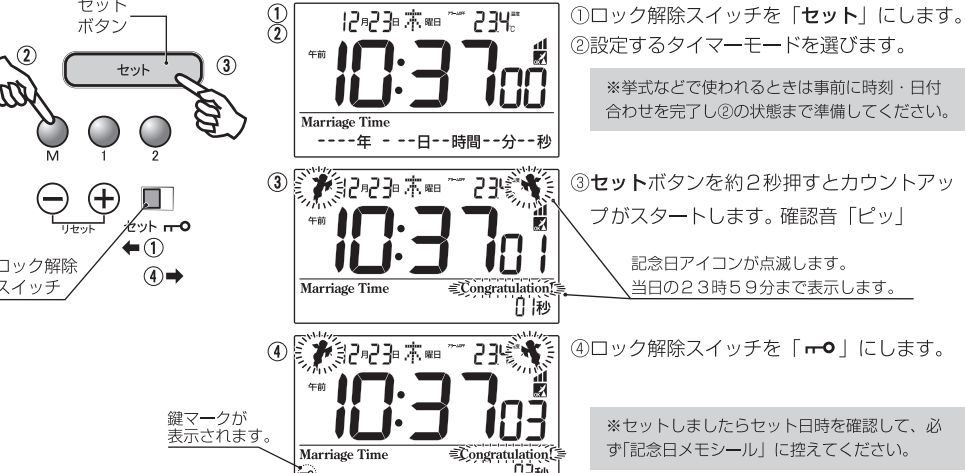


3.タイマー機能の使い方

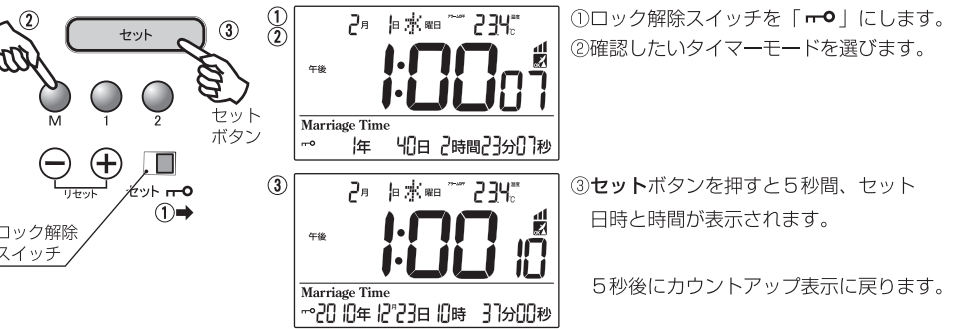
タイマー表示切替 タイマー表示を切り替えることができます。



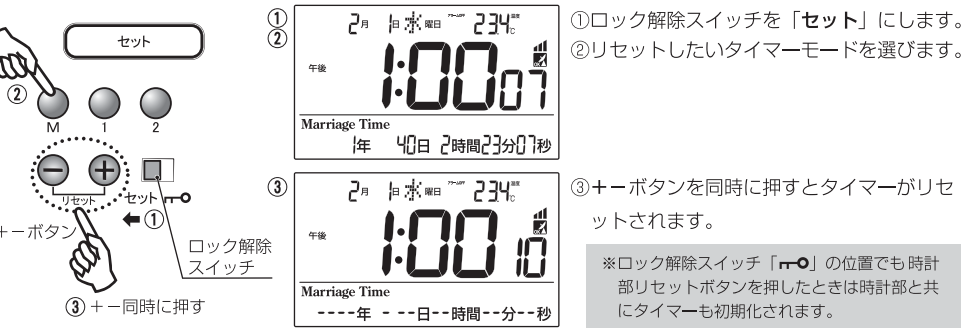
カウントアップスタート機能 大切な時を迎えた瞬間からのカウントアップ表示の設定ができます。



セット日時確認機能 いつでも記念の日付・時刻を確認できます。

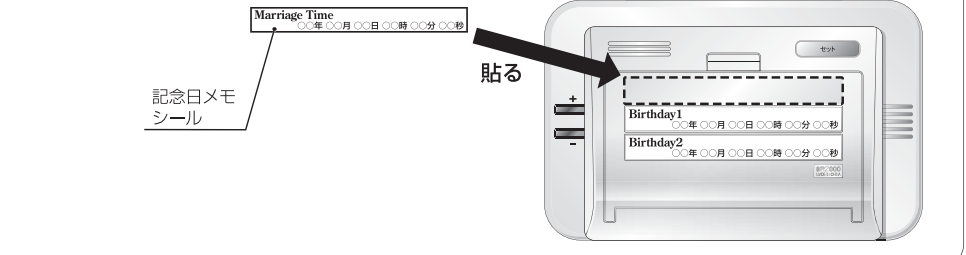


タイマーのリセット方法



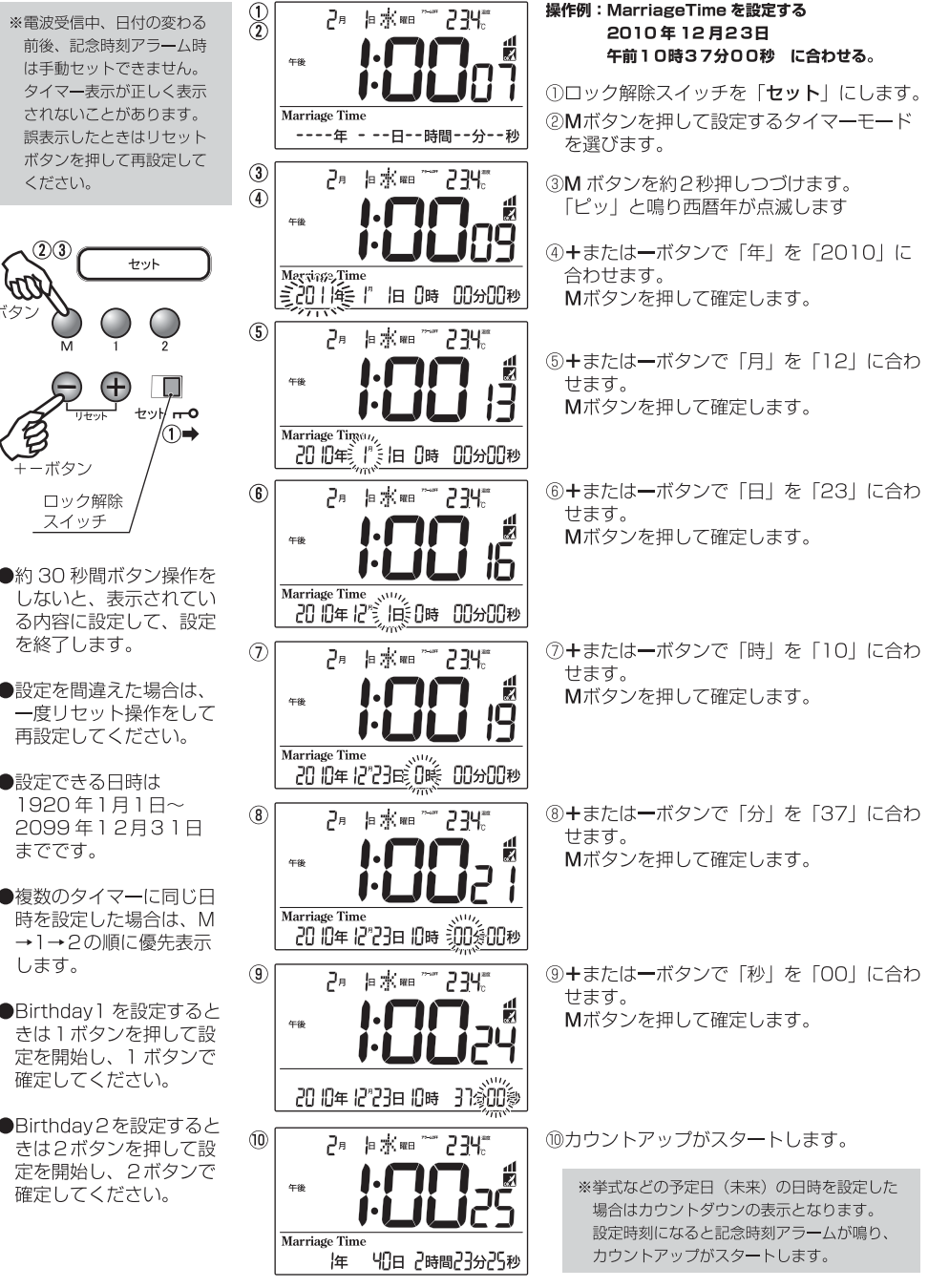
記念日メモシールについて

電池交換時などでタイマー設定がリセットされる(消える)ことがあります。セットしましたら必ずセット日時を確認して、「記念日メモシール」に控えてください。シールは時計の裏面に貼ることができます。



手動でのセット方法

電池交換をしたときなど手動で記念日の設定ができます。



記念日表示と記念時刻アラームについて

セット当日とセット日の1年後より毎年、セット日の0時00分~2時35分9秒の間、記念日アイコンが点滅します。他のタイマー表示のときは自動的に記念日のタイマー表示に切り替わります。セット時刻にはアラームが鳴ります。(ビツ・ビツ・ビツ・ビツ)



時計操作のお問い合わせ先

時計のご使用方法についてご不明なことがありましたら下記にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、時計の製造番号(型番)「8RZ112AZ」をお伝えください。

輸入元 **リズム時計工業株式会社**
(フリーダイヤル)
お客様相談室 **0120-557-005**
受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)